

川崎市国際交流センター

令和2年度 事業報告書

事業年度 自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

川崎市国際交流センター指定管理者

公益財団法人 川崎市国際交流協会・

株式会社東急コミュニティー共同事業体

目次

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業	- 1 -
(1) 図書・資料室の運営 (2-7)	- 1 -
(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)	- 4 -

II 広報出版事業

■2 情報提供事業	- 6 -
(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)	- 6 -
(2) センターホームページの運営 (2-8)	- 7 -
(3) 各種メディアの活用 (2-8)	- 8 -

III 講座・研修事業

■3 日本語講座開催事業	- 8 -
(1) 日本語講座の開催 (2-1)	- 8 -
(2) 特別講座 (2-1)	- 10 -
(3) 研修会 (2-1)	- 10 -
■4 国際文化理解講座事業	- 11 -
(1) グローバルセミナー (2-3)	- 11 -
(2) 国際文化理解講座 (2-3)	- 11 -
■5 国際理解講座事業	- 12 -
(1) 外国語による国際理解講座 (2-2)	- 12 -
■6 ボランティア養成事業	- 15 -
(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)	- 15 -
(2) 災害時通訳ボランティアセミナー (2-2)	- 15 -
(3) プロボノによる多文化共生社会推進事業 (2-2)	- 15 -

IV 国際交流促進事業

■7 日本語スピーチコンテスト事業	- 17 -
(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)	- 17 -
8 国際文化交流会事業	- 18 -
(1) 世界の音楽会 (魅惑の音楽紀行) (2-6)	- 18 -

(2) 留学生と交流する会 (2-3)	- 19 -
(3) 生活にほんごサロン (2-1)	- 19 -

V 外国人相談事業

■9 外国人相談事業	- 21 -
(1) センター相談事業 (2-4)	- 21 -
(2) 相談実績	- 22 -
(3) 相談支援 (2-4)	- 23 -
■10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業	- 24 -
(1) 観光ボランティア通訳セミナー (再掲)	- 24 -
(2) パラリンピック競技種目体験	- 24 -
■11 国際交流センター設置目的に沿った事業	- 24 -
(1) センターアートの鑑賞デー	- 24 -
(2) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援 (自主事業)	- 24 -
■12 施設運営及び維持管理業務	- 26 -
(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)	- 26 -
(2) 施設整備	- 30 -
(3) 市民共同おひさま発電所	- 30 -
(4) 施設利用実績	- 31 -
■13 個人情報の保護状況	- 33 -
■14 利用者アンケートの実施	- 34 -
(1) 施設利用者アンケート	- 34 -
■15 利用者からの意見等に対する対応状況	- 45 -
■16 施設管理運営における事故等の対応状況	- 46 -

令和2年度公2事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営においては、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

ア 利用時間 10:00～19:30（清掃・換気のため14:00～15:00一時閉室）

（コロナウイルス感染拡大防止対策のため）

イ 利用対象 小学校4年生以上（小学校3年生以下は保護者同伴の場合利用可）

ウ 複写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。

白黒コピー（B5～A3）1枚10円

カラーコピー（B5～B4）1枚50円（A3）1枚80円

エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。

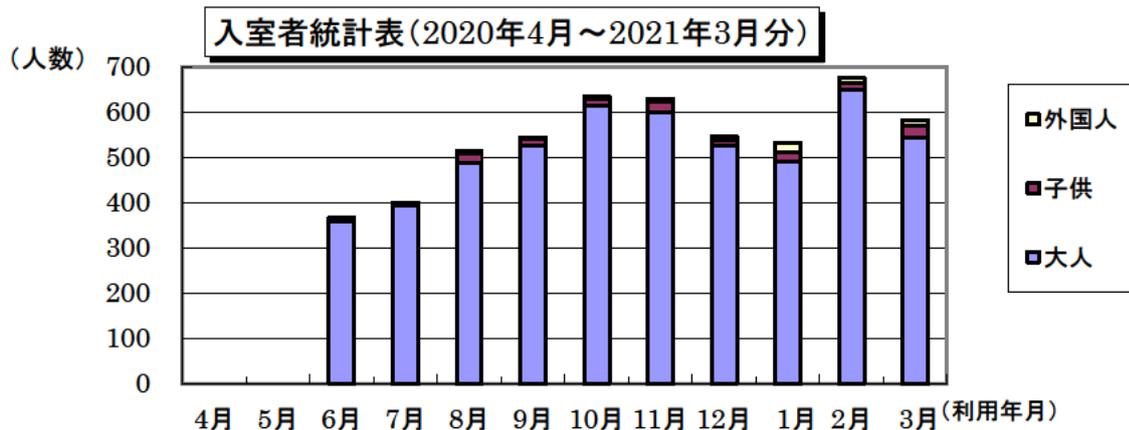
オ 利用者 5,427名（令和2年4月～令和3年3月） ※令和2年4月1日～5月31日は閉室

利用者数統計

（単位：人）

利用年月	開室日数	大人	子供	外国人	総数
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	28	358	5	5	368
7月	30	392	7	2	401
8月	26	489	20	5	514
9月	28	525	16	3	544
10月	30	613	16	6	635
11月	29	600	22	7	629
12月	27	527	9	10	546
1月	27	491	19	21	531
2月	27	650	14	12	676
3月	29	544	27	12	583
合計	281	5,189	155	83	5,427
1日平均		18	1	0	19

※4・5月はコロナウイルス感染拡大防止のため閉室

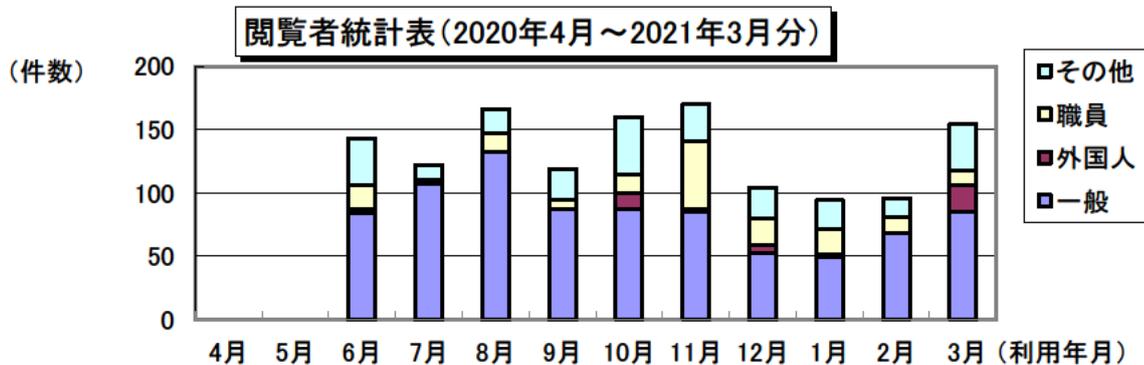


カ 閲覧数 図書等 (1,328 件) ビデオ (7 件) CD (6 件) DVD (46 件) 検索用パソコン (102 件)

図書等閲覧者統計

利用年月	一般	外国人	職員	その他	合計
4月	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0
6月	84	3	19	37	143
7月	107	1	2	12	122
8月	132	0	15	19	166
9月	87	0	7	25	119
10月	87	13	14	46	160
11月	85	2	54	29	170
12月	53	6	21	24	104
1月	49	3	20	22	94
2月	68	0	13	15	96
3月	85	21	12	36	154
合計	837	49	177	265	1,328

※4・5月はコロナウイルス感染拡大防止のため閉室



キ 閲覧図書上位 1 児童向け図書
 2 日本
 3 開発援助
 4 在日外国人
 5 ワールド

分 類	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
000 国際交流	0	0	14	0	0	1	3	1	5	7	1	6	38
010 平和	0	0	0	1	5	1	1	3	0	2	2	0	15
020 人権	0	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	1	5
030 開発援助	0	0	21	21	31	17	10	3	3	1	2	6	115
040 地球環境	0	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	2	6
050 在日外国人	0	0	27	3	3	5	8	11	5	17	11	9	99
060 海外生活	0	0	2	2	0	9	3	7	1	0	0	0	24
070 語学	0	0	3	9	11	5	2	1	9	3	9	13	65
080 国際関係	0	0	0	2	0	0	0	1	1	1	0	2	7
090 その他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
100 日本	0	0	9	14	10	12	30	25	24	11	3	10	148
200 アジア	0	0	2	1	7	23	12	13	12	1	1	1	73
300 ヨーロッパ	0	0	19	24	18	10	17	7	6	1	7	25	134
400 アフリカ	0	0	3	0	1	0	0	0	0	1	0	2	7
500 北米	0	0	1	2	0	0	2	0	2	1	4	1	13
600 中南米	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
700 オセアニア	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	3
800 世界	0	0	17	13	6	10	4	8	8	3	6	8	83
900 参考図書	0	0	6	14	2	4	4	7	5	8	7	9	66
990 児童書	0	0	18	15	68	22	59	80	20	35	43	59	419
特 殊 言 語	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	5

※4・5月はコロナウイルス感染拡大防止のため閉室

ク 蔵書数

書 籍	17,362 冊
和図書	14,476 冊
外国語図書	2,886 冊

新聞 (日刊・週刊など)	17紙 英語 1紙 韓国・朝鮮語 1紙 中国語 3紙 日本語 10紙 タガログ語 1紙 日本語、中国語 1紙
情報誌	35誌 和雑誌 24誌 外国語雑誌 11誌 (うち在日外国人向け生活情報誌) 6誌
視聴覚資料	753巻
新聞スクラップ	5タイトル

(令和3年3月末現在)

(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

イ 国際交流に係る資料や作品の展示 (情報ロビー)

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。

ウ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

エ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

オ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

カ 各国紹介パネルの展示 (情報ロビー、プロムナード)

在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際色豊かな環境づくりを行った。

キ インターネットコーナー (受付前)

無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。

インターネットに接続したパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 9:30~20:00 (休館日、施設点検日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 727件 (内外国人利用41件)

ク 地域との連携

	内容	日時
1	第29回川崎ジュニア文化賞 受賞作品展示	10月10日(土)~22日(木)

第29回川崎ジュニア文化賞
【小学生の絵画と作文のコンクール】
受賞作品の展示会
2020年10月10日(土)~22日(木)
会場:川崎市国際交流センター 展示ロビー
開催時間:9:00~21:00
絵画の部:大賞作品



~応募作品の中から 作文の部・絵画の部入賞作品
全て(14点)を展示します~

TEL: 044-435-1030 / FAX: 044-435-1030
TEL: 044-435-1030 / FAX: 044-435-1030
TEL: 044-435-1030 / FAX: 044-435-1030

2	国際交流「ボッチャ大会」	8月に実施予定の所コロナ禍により中止
---	--------------	--------------------

(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビーでの催事・展示 (2-7)

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画などの展示を無料で行った。

ア 情報ロビー

	利用内容	主催団体等	利用期間
1	パネル展示 図書・資料室の本の紹介	(公財) 川崎市国際交流協会	9月1日～10月31日 11月6日～12月25日
2	フットメザ	フットメザジャパン	11月～3月 各月1回 計5回
3	中村哲さん追悼写真展	かわさき国際交流民間団体協議会	3月13日～3月28日



イ 展示ロビー

	利用内容	利用期間
1	第29回川崎ジュニア文化賞 絵画・作文・入賞作品の展示	10月10日～10月22日
2	かわさきハワイアンフェスティバル	10月31日～11月1日
3	書道教室 作品展	11月9日～11月15日
4	クリスマス交流会	12月13日
5	習字教室作品展	2月19日～2月21日

※利用予定であったが新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったもの

	利用予定	利用予定期間
1	インターナショナルフェスティバル	7月4日～7月5日
2	写真展	8月26日～8月30日
3	多摩・三浦丘陵の緑と水景に関する広域連携会議シンポジウム	2月26日～2月27日

Ⅱ 広報出版事業

■2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)

ア 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 川崎市国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信すること。

(発行) 年間9回(月刊、5月号はコロナウイルス感染拡大に伴い、イベント等の開催予定がなかったため、発行を中止とした。6・7、12・1月号は合併号)

(部数) 5,000部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターからのお知らせ、施設点検日、休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所・市民館・図書館など公共施設、川崎市内公立小中学校・高校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

イ かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介すること。海外在住の日本人やJICAの海外協力隊員、国内の外国人市民に、さまざまな国の生の情報や文化等を市民目線で寄稿してもらい、日本で暮らす外国人市民の異文化感覚や多文化共生にもつながる知識や情報など、幅広く市民に提供すること。

(発行) 年4回(季刊)

(部数) 5,500部/回



2020SIGNAL 秋号 表紙写真

(広告掲載) 2019秋号から広告掲載を開始

(配布先) 各区役所・市民館・図書館などの公共施設、川崎市内小中学校・高校・大学等、ボランティア、国際交流関係団体等



(企画・編集等)

職員と編集ボランティアとで、企画・編集会議を開催し、毎号紙面構成に基づく企画、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(取材・座談会)

- ・外国につながる寺子屋の参加者保護者へのインタビュー 令和2年4月11日(土)
- ・川崎市内の大学ミュージカル講師アメリカ人へ外国人インタビュー 令和2年5月1日(金)
- ・国際理解講座のアメリカ人講師へ外国人インタビュー 令和2年9月5日(土)
- ・外国人による座談会「コロナ禍を外国人市民に聞いてみた」を実施 令和2年10月10日(土)
- ・日本チェコ交流100周年を記念して チェコ人へインタビュー 令和2年10月28日(水)
- ・「日本語スピーチコンテスト」の最優秀賞者らにインタビュー 令和3年2月6日(土)

(総括)

コロナウイルスの影響により、編集ボランティアに外部への取材をお願いしにくい状況が続いたため、秋号では国際交流センター内の工芸品・美術品を取り上げ、写真と解説を掲載した。それに伴い実物を鑑賞できるように、センターの有料エリアも開放し、「センターアート鑑賞デー」を開催した。また、冬号ではコロナ禍をテーマとした外国人市民による座談会を実施したり、多文化共生課・多文化共生総合相談ワンストップセンターの上半期の外国人相談件数のまとめを掲載するなど、コロナ禍の影響も記事に反映する工夫をこらした。

(2) センターホームページの運営 (2-8)

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人等に対し国際交流に関する多様な情報を提供した。より見やすいホームページとなるよう検討を行い、ウェブ・アクセシビリティに適合した記載、記述とした。また、多言語ページについてスマートフォン対応の拡充を図った。

新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用や主催事業等の対応については、随時ホームページ等に掲載するなど周知に努めた。

ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

- ・アクセス件数 119,150 件 (1日あたり 325 アクセス)
- ・更新回数 3,763 回

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント
ニュースレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報
外国人留学生への助成制度 11言語での川崎市内のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

外国人あるいは外国出身シェフのいるお店

オ 多言語ブログ

「ブログ歳時記」として、日本の文化や風習と、外国人市民の生活情報に関わる情報を取り交ぜ、多言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、やさしい日本語、日本語)で月2回発信した。月平均アクセス数約1,052件、最大アクセス数月約1,551件

カ その他

(3) 各種メディアの活用 (2-8)

ア 「かわさきFM」の活用

スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座の受講生等が出演し、自国での経験や外国の新しい情報を届けた。

(出演日時) 令和2年4月～令和3年3月

(会場) 武蔵小杉タワープレイス1階 かわさきFMブース

(参加者) 各回2～3名の外国人市民とボランティア1名。

今年度はコロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった日本語教室もあり、留学生やセンターの相談員等も出演の機会を得た。

イ 「暮らしの窓」の活用

センターの指定管理者共同事業体の構成員が管理するマンションへ、定期的に配布をしている。情報誌「暮らしの窓」に、センターのイベント情報、施設情報を掲載したチラシを挟み込み、センター事業の広報を行う予定であったが、コロナウイルス感染症の影響により、配布に適さない時期であると判断され、「暮らしの窓」の発行自体が中止となった。

(配布予定時期) 令和2年5月

(配布予定先) 中原区、宮前区、幸区、高津区内のマンション200か所 11,025戸

ウ 「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週約4回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしい日本語」を使用した。

「いいね!」1,359件(令和3年3月末)

エ 川崎市のソーシャル・ネット・ワーキング・サービスの活用

(ア) 協働・連携ポータルサイト「つながっど KAWASAKI」

(イ) 「かわさきイベントアプリ」

(ウ) なかはらメディアネットワーク

(エ) かわさきの生涯学習情報(川崎市生涯学習プラザ)

(オ) かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」

Ⅲ 講座・研修事業

■3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座開講した。コロナウイルス感染拡大防止のため、1学期は中止とした。2学期からは、感染対策を行った上で、日本語講座を開催した。また、学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催 (2-1)

ア 講座

(ア) 午前コース(9:50～11:50) 年間3期、週2回(火・金)

併せて、保育(受講生の1歳以上の子どもを預かる)も

1学期:4月14日～7月3日(22回)緊急事態宣言発令により中止

2 学期：9 月 15 日～12 月 4 日（22 回）開催

3 学期：1 月 26 日～3 月 19 日（15 回）開催

月	ク ラ ス	学 習 者 の 主 な 国 籍	人 数
9 月	上級 1、中級 1、初級 5	中国、タイ、オーストラリア他	31 名
10 月	上級 1、中級 1、初級 5	中国、タイ、オーストラリア他	36 名
11 月	上級 1、中級 1、初級 5	中国、タイ、オーストラリア他	35 名
12 月	上級 1、中級 1、初級 5	中国、タイ、オーストラリア他	29 名
1 月	中上級 1、初級 5	中国、タイ、フィリピン他	32 名
2 月	中上級 1、初級 5	中国、タイ、フィリピン他	48 名
3 月	中上級 1、初級 5	中国、タイ、フィリピン他	35 名

(総括)

コロナウイルス感染拡大防止のため 1 学期は中止になったが、2 学期、3 学期はアクリル板の使用や定員数を減らすなどコロナ対策を行い、開催。コロナウイルスの影響で休講を余儀なくされた市民館が多数あった中、予定した日程で日本語学習の機会が提供でき、30 人前後の学習者の参加があった。

(イ) 夜間コース（18:30～20:30） 年間 3 期、週 1 回（水）

1 学期：4 月 15 日～7 月 15 日（12 回）緊急事態宣言発令により中止、

2 学期：9 月 2 日～12 月 9 日（15 回）

3 学期：1 月 27 日～3 月 24 日（9 回）※授業時間は 18:30-20:00 まで。

月	ク ラ ス	主 な 国 籍	人 数
9 月	上級 1、中級 2、初級 6	ベトナム、中国、イギリス他	30 名
10 月	上級 1、中級 2、初級 6	ベトナム、中国、イギリス他	35 名
11 月	上級 1、中級 2、初級 6	ベトナム、中国、イギリス他	30 名
12 月	上級 1、中級 2、初級 6	ベトナム、中国、イギリス他	25 名
1 月	上級 1、中級 2、初級 6	中国、アメリカ、タイ他	22 名
2 月	上級 1、中級 2、初級 6	中国、アメリカ、タイ他	34 名
3 月	上級 1、中級 2、初級 6	中国、アメリカ、タイ他	26 名

(総括)

1 学期はコロナウイルス感染拡大防止のため閉講したが、2 学期、3 学期は対面でコロナ対策を行いながら開催した。昨年と比べて学習者は減少しているものの、コロナ禍にもかかわらず 25～35 名程度が毎回受講した。

イ 講師 当協会登録の日本語講座ボランティア

ウ 活動ボランティア 当協会登録の保育ボランティア（保育）、一般ボランティア（受付）

エ 会場 川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、団体活動ルーム

オ 学習者(午前・夜間) 延べ 448 名 (24 カ国・地域)



(2) 特別講座 (2-1)

学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

日 時	内 容	学 習 者	日本語ボランティア	参加人数
2月17日 (水)	体験！風呂敷包み（日本文化体験）	32名（夜間コース）	9名	41名
3月16日 (火)	乙女文楽の鑑賞とワークショップ	26名（午前コース） 子ども4名 保育ボランティア2名 受付ボランティア1名	やさしい日本語 ボランティア 8名 3名	44名

(総括)

午前コースでは、現代人形劇センター「ひとみ座」から演者を招き、乙女文楽の観劇と体験のワークショップを行った。コロナ禍のため、実際に人形を操るなどの体験はできなかったが、ボランティアも学習者も、大人も子供も楽しみながら日本文化に触れることができた。また、夜間コースでは、「体験！風呂敷包み（日本文化体験）」と題し、日常生活に根差した日本の伝統文化である風呂敷を使った包み方などを学習した。



(3) 研修会 (2-1)

ア 日本語講座ボランティアブラッシュアップ研修

当協会登録日本語ボランティアを対象に研修を開催した。

(テーマ) 「Can-do の理念を生かした実践」

(日時) 令和3年2月27日(土) 10:00～ 12:00

(講師) 大学教授

(会場) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(参加者) 40 名

(総括)

Can-do の理念を実際の授業に反映できるように、実践的なワークショップを行った。研修で学んだことを早速自分の授業に生かしているというボランティアの声も聞くことができた。日本語教育に携わっているボランティアにとって有意義なテーマだった。

イ 日本語講座ボランティア登録事前研修

当協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

(日時) 令和3年1月16日、1月23日、1月27日～2月9日(うち希望する2日間)

2月13日、20日、27日

土曜日 14:00～16:00(最終日27日のみ10:00～12:00、13:00～15:00)

(回数) 全8回

(講師) 日本語教育学会会員 地域日本語人材育成コーディネーター

当協会日本語講座ボランティア講師 大学教授

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム他

(内容) ボランティアの心得、川崎の識字教育のこれまでの歩みの紹介

当協会のオリジナルテキスト「日本語160時間」上・下巻の説明と使い方

当協会日本語講座の見学と振り返り、参加者による模擬授業と振り返り

Can-doを取り入れた日本語授業ワークショップ

(参加者) 18名(当協会日本語講座ボランティア登録希望者)

(総括)

例年おこなっている教案作成、模擬授業に加え、実施されている講座の見学と振り返り、大学教授による講義を組み込み、地域の日本語教室へ通う学習者を中心に日本語教育を捉えることができるように努めた。研修後は17名にボランティア登録をしてもらうことができた。



■4 国際文化理解講座事業

(1) グローバルセミナー (2-3)

コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

(2) 国際文化理解講座 (2-3)

日本とチェコ共和国交流100周年を記念して、チェコの文化を学ぶ講座を開催した。チェコガラスビーズアクセサリーの作成体験、チェコ共和国の歴史や成り立ち、周辺国との関係、日本とチェコの交流に関わった歴史的人物の話やチェコ語講義など、多岐にわたる内容でチェコ文化や歴史への理解を深める講座となった。

(日時) 令和2年10月14日、21日、28日の水曜日14:00～16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 第4・5会議室、レセプション・ルーム

(講師) 東京外国語大学講師、チェコ共和国プラハ出身

	開催日	内 容	受講者
1	10月14日	「チェコガラスビーズの魅力」 チェコガラスビーズアクセサリーの作成体験	38名
2	10月21日	「遠くて近いチェコ」 日本で触れることができるチェコ共和国の 文化、施設などの紹介	35名
3	10月28日	「日本チェコ交流史」 日本とチェコ両国の交流史、活躍した人物に ついてのお話	35名



(総括)

チェコ共和国との外交関係100周年を記念して、チェコ共和国大使館協力のもと東京外国語大学チェコ語講師を招き、交流史を学び文化体験を行う講座とした。ビーズアクセサリー体験は好評であり、チェコ文化や歴史の理解が深まり満足度の高い講座となった。

■5 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語（英語、韓国語、中国語）による文化や課題などの紹介を通して、国際理解を深めた。

(1) 外国語による国際理解講座 (2-2)

ア 英語による国際理解講座

英語講座講師などの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や異文化理解、多文化社会等について、講義と交流を行った。

(日時) 令和2年9月5日、19日、26日、10月3日の土曜日

10:30~12:00

(会場) 川崎市国際交流センター 第2・3会議室、第4・5会議室

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	9月5日	“Gourmet French VS. Gourmet Japanese” 「フランス料理 対 日本料理」	英語医療通訳スタッフ	32名

2	9月19日	“My London Story” 「ロンドン物語」	英語講師	29名
3	9月26日	“English Tea” 「英国の紅茶」	大学講師	28名
4	10月3日	“Multiculturalism from a Canadian Perspective” 「カナダにおける多文化主義」	川崎市国際交流員	28名



英語による国際理解講座
～中上級者(16歳以上)対象・英語による演義/Q&A形式～
※本講座は、川崎市の国際交流センターにて、毎月1回のペースで開催されています。
時間：各回とも午前10時30分から12時

9/5	“Diverse French VS. Diverse Japanese” “フランス語と日本語の多文化性”
(土)	講師: Mr. Akemi Hiroko Fren 札幌市在住のフランス人
9/19	My London Story 「ロンドン物語」
(土)	講師: Mr. Jason Ryan 川崎市の国際交流員
9/26	English Tea 「英国の紅茶」
(土)	講師: Mr. Tim Knight 川崎市の国際交流員
10/3	“Multiculturalism from a Canadian Perspective” “カナダにおける多文化主義”
(土)	講師: Mr. Charles Squire 川崎市の国際交流員

会場：川崎市国際交流センター（川崎市東区）
●参加費：4,400円（40分を事前に一括払い、振込先口座）
●定員：30名（定員を超えた場合は抽選）
●申込：HPの専用フォームまたは 電話 要約 3日（月）締切

川崎市国際交流センター（国際交流部）（川崎市国際交流員）
〒211-0033 川崎市中区東本町1-1-1 TEL: 044-433-1000 FAX: 044-433-7519 E-MAIL: kankai@kai.or.jp

(総括)

多文化社会についての話や日常的な話題が提供され、満足度の高い講座となった。他国の先進的な多文化共生社会について学び、これからの日本の多文化共生社会について考える一助となった。多文化理解を進めることのできる人気の講座である。

イ 韓国語による国際理解講座

当協会の語学講座の韓国語講師に依頼し、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に韓国の大衆文化についての歴史や文化について、映像を見ながら学べる楽しい国際理解講座となった。

(日時) 令和2年10月10日(土) 13:00～15:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) ノリノリの国民性やパワフルなエネルギーの証と言われる、韓国人の飲酒歌舞について、映像や音楽も見せながら説明するととても楽しい講義になった。受付や司会を韓国人留学生に担当してもらい、参加者との交流も図った。

(講師) 韓国語講師、詩人

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10月10日	韓国人の飲酒歌舞って何？その歴史と文化	韓国語講師・詩人	21名

(総括)

この講座は韓国語で行うため、韓国語の言い回しや発音なども学ぶことができた。また、当協会の語学講座の韓国語講師に依頼することで、充実した、わかりやすい、現在の韓国を学べる内容の講座を目指している。韓国の伝統文化から大衆文化を考察するような内容で、韓国人ならではの現在の状況や慣習も学ぶことができた。と出席者の満足度も高かった。



エ 中国語による国際理解講座

現在の中国の生の情報や若者文化を紹介するため、講師は当協会の川崎市親善留学生に公募し、依頼した。受講者は中級レベル以上の中国語学習者を対象に募集した。

(日時) 令和2年11月7日(土) 10:00~12:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 若者の視点から見た中国ドラマから時代劇や90年代の家族をドラマ化したもの、アメリカに移住した中国人をテーマにしたもの、中国のアラサーの女性たちをテーマとしたものなどを紹介した。ドラマを視聴しながらの解説は時代背景や時代から見るポイントを指摘する、興味深い講義であった。また、受付や司会も中国人留学生に担当してもらい、参加者との交流も図った。

(講師) 川崎市親善留学生(川崎市就学奨励金受給生)

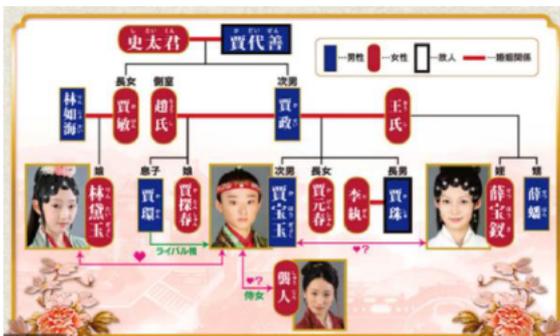
	開催日	内容	講師	受講者
1	11月7日	最近の中国ドラマとその社会現象	川崎市親善留学生	25名

(総括)

この講座は中国語で行うため言い回しや発音なども学ぶことができた。

若い世代の視点による現在の中国の状況や文化を学べるように、当協会の就学奨励金の受給留学生に講師を公募した。講師は応募者のテーマから選別し、充実した内容の講座を目指した。

今年は中国の昔から現在まで現地で人気の高かったドラマを紹介し、なぜ人気が高かったかを分析した内容で、中国の時代背景や現地の慣習も学べることができ、出席者の満足度も高いものとなった。



ネットライブによる韓国語・中国語での歌謡も交えたお話し(最新!)

韓国語・中国語による国際理解講座

韓国語 10月10日(土) 13時-15時
 講師: 李美文 (韓国語、中国語、日本語、英語、韓国文化、韓流)

中国語 11月7日(土) 10時-12時
 講師: 薛立浩 (中国語、中国ドラマ、中国文化)

定員: 各20名(先着順)
 対象: 韓国語・中国語 中級者以上(16歳以上)
 場所: 川崎市国際交流センター
 費用: 無料(講師「話し」は別途1000円)
 申込: 申込フォーム(申込)を提出
 申込締切: 10/29(金) 18時(中国語) 10/29(金) 18時(韓国語)
 申込費: 韓国語・中国語 各500円
 *申込費は講座1日参加者に返金します
 連絡: 国際交流センター TEL: 044-251-1111
 Eメール: kwan@kai.or.jp

■6 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー (2-2)

初中級レベルの英語力で、外国人を案内、交流したいと考えている人材を対象に研修を開催し、訪日外国人について及び川崎でのおもてなしポイントを学んだ。

	日時	内容	講師	受講者
第1部	10月24日(土) 10:30~12:00	・外国人観光客、インバウンド状況について知る ・川崎の観光地について知る	通訳案内士、KSGG ボランティア	35名
第2部	10月24日(土) 13:00~15:00	・道案内など案内に役に立つ英語フレーズを学ぶ	川崎市国際交流協会 語学講師	35名

(総括)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため日程を延期し、開催時間も短縮してセミナーを行った。オリンピック・パラリンピックが延期となり、参加者にとっては本セミナーで学んだことをすぐに生かせる場がなくなってしまったのだが、いつか観光事業が再開できるようになる日に向けて、モチベーションと英語力を維持するために有用だったという意見が散見された。また、外国人に案内することを通じて、自分の住んでいる地域の魅力を再確認できたようである。

(2) 災害時通訳ボランティアセミナー (2-2)

川崎の外国人市民と外国人観光客に対して、災害時に通訳ボランティアが支援するための心構えや川崎の現状等について学ぶ研修を開催した。

ア 川崎市における外国人住民と災害時対応～災害時における外国人支援に関する課題～

(日時) 令和2年11月14日(土) 14:00~16:00

(会場) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 「コロナ禍の災害時対応と外国人支援」をテーマに、コロナがもたらした外国人への影響についての講義があり、コロナ禍における災害時対応と外国人が直面する課題について、支援のポイントとボランティアに期待される役割について学び、これからの災害時対応について考える講義となった。

(講師) 一般財団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

(参加者) 26名

(総括)

自治体国際化協会(クレア)のアドバイザー派遣事業を利用し、一般財団法人ダイバーシティ研究所の代表によるセミナーを行った。講師の実践に基づく講義は大変有意義なものであった。今後は災害時に最も用いられている「やさしい日本語」についての講座を行うことにより、ボランティア養成につなげていく必要がある。

(3) プロボノによる多文化共生社会推進事業 (2-2)

地域資源を活用した外国につながるの子ども支援

事業名	日時	内容	講師	受講者
学習支援者のための在留資格研修	7月11日(土) 14:00~15:30	学習支援の子どもの在留資格について	行政書士	10名
	(総括) 多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。学習支援者にとってはブラッシュアップの機会となった。在留資格改正による外国人市民の増加に対応するため、在留資格に関する学習が必要である。			
日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座	① 8月1日(土) 13:00~17:00 ② 2月11日(木) 13:00~17:00	・外国につながりを持つ子ども達の現状と課題 ・支援の方法	多文化活動連絡協議会代表、 横浜市教育委員会 日本語講師 横浜県立高校 日本語講師	①15名 ②8名
	(総括) 多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。学習支援者にとってはブラッシュアップの機会となった。在留資格改正による外国籍の子どもの増加に対応するため、今後も外国につながる子どもの日本語・教科学習を支援するための研修が必要である。			
外国につながる子どもたちの高校進学を考えるフォーラム2	10月24日(土) 14:00~16:00	「外国につながる若者の学びとキャリア」講演、座談会	下関市立大学講師	15名
	(総括) 多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。学習支援者にとってはブラッシュアップの機会となった。在留資格改正による外国籍の子どもの増加に対応するため、今後も外国につながる子どもの自立支援に必要となる高校進学とその支援方法について学習する必要がある。			
	3月6日(土) 14:00~16:30	外国につながる子どもへの多様な支援を考える	多文化活動連絡協議会代表 前県立高校定時制講師 一橋大学講師	20名

多文化共生フォーラム	<p>(総括)</p> <p>多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。学習支援者にとってはブラッシュアップの機会となった。在留資格改正による外国籍の子どもの増加に対応するため、様々な視点から今後も外国につながる子どもの背景や課題を学習する講座が必要である。</p>			
文化交流会	<p>① 7月19日(日) 10:00~13:30</p> <p>②11月15日(日) 10:00~13:30</p>	<p>①チュニジア</p> <p>② ベナン</p> <p>地域の料理を参加者と一緒を作り食べる中で、日本語でのコミュニケーションを経験する。</p>	多文化活動連絡協議会	<p>①12名</p> <p>②12名</p>
	<p>(総括)</p> <p>多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。外国につながる子どもと支援者が多文化料理を作り、コミュニケーションを図る中で、相互に多文化理解を図る機会となった。今後も多文化を理解するとともに、母文化を尊重する取組が必要である。</p>			

(4) 若者の自立支援事業（外国につながる子どもの学習支援）

川崎市内の外国につながる子ども（中学生）の学習支援を多文化活動連絡協議会の協力のもと実施した。

(日時) 令和2年4月5日～令和3年3月31日 99回

(会場) 川崎市国際交流センター 研修室

(参加者) 延べ254名

(参加費) 無料

IV 国際交流促進事業

■7 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト (2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、第26回日本語によるスピーチコンテストを開催し、オンライン配信により日本人と外国人との相互理解を深めた。

(日時) 令和3年2月6日(土) 13:00~15:45

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) スピーチコンテスト

(主催等) 主催：川崎市国際交流センター

協賛：川崎ライオンズクラブ、川崎中ロータリークラブ

協力：国際ソロプチミスト川崎

後援：川崎商工会議所、川崎市教育委員会

(対象) 日本語を母語としない来日 5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学・専門学校
の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場団体等) 7団体 11名

ベトナム	「おもいやり」	株式会社リード技研
中国	「日本で流行っている二胡の曲」	昭和音楽大学
インドネシア	「もう終わり？まだ終わりじゃない」	外語ビジネス専門学校
中国	「マジョリティ」から「マイノリティ」に	日本女子大学
タイ	「災害に負けないように」	高津市民館
中国	「マスクの下はどんな顔？」	日本語クラブ土曜の会
ベトナム	「私の夢」	米山ファッションビジネス専門学校
中国	「映画の音楽」	昭和音楽大学
台湾	「万巻の書を読み、万里の道を行く」	日本語クラブ土曜の会
ベトナム	「日本での生活と仕事」	株式会社リード技研
中国	「女性として思うこと」	米山ファッションビジネス専門学校

(参加者) 来場者：46名(関係者) オンラインYouTube視聴回数 322回



(総括)

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、来場者を関係者のみとして、一般観覧者向けにはオンラインで配信した。また、交流会は開催しないものとした。YouTubeによるオンライン配信については、開始当初、音声の不具合があったが、概ね好評であった。また、発表者からは、母国の家族や友人にも見てもらえる機会となったとの感想があった。後日、ホームページで動画配信を行った。

8 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) 世界の音楽会(魅惑の音楽紀行)(2-6)

川崎市とイギリス・シェフィールド市の友好都市提携30周年を記念し、川崎市出身でイギリス在住の世界的ピアニスト小川典子氏を招聘し、ピアノ・リサイタルを開催した。～音楽で世界をめぐる～と題し、演奏曲の解説と共に作曲家にまつわるお話もあり、外国を旅するように楽しめる音楽コンサートとなった。

(日時) 令和2年5月11日(月) 14:00~15:30(当初予定)



* コロナウイルス感染拡大防止のため延期

令和3年3月13日(土) 昼の部 14:30 開演、夜の部 19:00 開演

* コロナウイルス感染拡大防止のため座席数を半分にし、2回公演にして実施

(場所) 川崎市国際交流センター ホール

(参加者) 昼の部 参加者数 113名

夜の部 参加者数 88名

(総括)

今年度はイギリス・シェフィールド市との友好都市提携30周年を記念して、川崎市出身でイギリス在住のピアニストに出演を依頼し、ピアノ・リサイタルを開催した。最初は2020年5月を予定したが緊急事態宣言発令で延期し、2021年3月に、座席数を半数にし、午後・夜間の2回公演で実施した。アンケートでは、「演奏家の迫力ある演奏で涙があふれた」「久しぶりに生の音楽に触れられて心が明るくなった」「小川さんの曲や作曲家の解説が楽しかった」などの高い評価をいただいた。

(2) 留学生と交流する会 (2-3)

コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMを使ったオンラインで開催した。

(日時) 令和2年11月28日(土) 14:00~15:30

(会場) ZOOMを使ったオンライン

(内容) 留学生の自己紹介、留学生によるグループ発表(川崎について調べたこと)、質疑応答

(参加者) 49名(留学生28名、一般参加者21名)

(参加費) 無料

(総括)

外国人留学生就学奨励金の受給者となった留学生には、1年間を通して、地域の国際化、特に川崎市の国際交流活動に参加することを支給要件の一つとしている。今年度は、国際交流活動の一環として、グループごとに「川崎の魅力」をテーマに設定して調査を行い、その調査結果について「留学生と交流する会」でオンライン配信による発表を行った。川崎市民も留学生の発表をオンラインで視聴し、交流ができるよう事前に広報し、参加者を募った。また、オンラインで発表した調査内容は、報告書「バトンパス」として作成した。今後も、オンラインによる配信や交流も活用していきたい。



(3) 生活にほんごサロン (2-1)

ア 生活にほんごサロン

外国人市民に、日本語や社会人経験によるビジネスマナーを教えることができるサポーターを1対1でマッチングし、土曜・日曜に日本語や会社でのコミュニケーション力を学べる機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供する場である。

(期間) 令和2年4月~4月末 コロナウイルス感染拡大防止のため活動を休止

令和2年5月~令和3年3月末 活動中のペアのみ実施、新規のマッチングは休止

(会場) 川崎市国際交流センター エントランスロビー

(内容) 生活や会社で使う日本語や高校入試の面接試験の練習など、内容は学習者とサポーターで相談して実施した。おかげで高校に合格できた、日本語能力検定試験に合格したなど、うれしい報告も多数あった。

(参加費) 無料

(参加人数) 学習者 延べ 207 名 サポーター 延べ 207 名



月	活 動 状 況
4 月	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
5 月	サポーター15名、外国人参加者 15名
6 月	サポーター17名、外国人参加者 17名
7 月	サポーター32名、外国人参加者 32名 (オンライン3組×4週実施含む)
8 月	サポーター31名、外国人参加者 31名 (オンライン2組×4週実施含む)
9 月	サポーター19名、外国人参加者 19名 (オンライン1組×4週実施含む)
10 月	サポーター24名、外国人参加者 24名 (オンライン1組×4週実施含む)
11 月	サポーター17名、外国人参加者 17名 (オンライン1組×4週実施含む)
12 月	サポーター13名、外国人参加者 13名 (オンライン1組×4週実施含む)
1 月	サポーター16名、外国人参加者 16名 (オンライン2組×4週実施含む)
2 月	サポーター14名、外国人参加者 14名 (オンライン2組×4週実施含む)
3 月	サポーター 9名、外国人参加者 9名 (オンライン2組×4週実施含む)

(総括)

生活にほんごサロンでは、生活や会社で使う日本語や高校入試の面接試験の練習などマンツーマンで、内容は学習者とサポーターで相談して実施する。そのため、日本語学習を支援していく中で、特にコロナ禍において、サポーターは学習者の日本での生活の相談相手になったり、よき話し相手にもなっていた。また、マンツーマンによる学習形態のため、双方で可能なペアはオンラインによる学習も導入している。

イ 生活にほんごサロンサポーター研修

(講師) 公益社団法人日本語教育学会 人材育成コーディネーター

(参加人数) 延べ 150 名

(対象) 現サポーターおよび新しくサポーターを希望する市民

	日 時	内 容
1	10月3日(土) 14:00~16:00	「生活にほんごサロン」とは : 初対面の人とのコミュニケーション、日本に来て困ったこと、文字と音と表記
2	10月4日(日) 10:00~12:00	現場で求められる「日本語の力」: O×どっち? どう伝えますか? 「高くておいしいケーキです、どうぞ。」「あなたも参加するつもりですか。」

3	11月7日(土) 14:00~16:00	日本社会におけるコミュニケーション：ウチとソトの関係、敬語の使い方、いつ、どこで、何のために使いますか
4	11月8日(日) 10:00~12:00	模擬実践：自分で活動をイメージして作る、やってみる
5	11月21日(土) 14:00~16:00	活動をスタートするために：活動の素材や方法を知り、疑問を解決する



(総括)

コロナ禍でも30名を超える応募があり、何名かお断りする状況だった。人気の理由は日本語教育の素養がなくても、自分の社会人としての経験を生かして教えられること、1対1のため学習者との相談で、土曜・日曜の都合の良い時間帯で調整できることなどがあげられる。日本語教育の経験者と未経験者が混在している研修だったが、講師の工夫をこらした講座内容で高い評価だった。

ウ 生活にほんごサロンサポーター交流会

(参加費) 無料

(内容) サポーターと学習者と当協会の相談員で昼食をとりながら、困っていることやがんばっていることなどを話して交流する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止した。

V 外国人相談事業

■9 外国人相談事業

「ワンストップセンター外国人相談窓口」の運営として、外国人市民の日常生活に関する幅広い相談に対しての情報提供や助言、必要に応じては関係機関・団体等の紹介を実施した。相談は、ワンストップセンター窓口、専用ダイヤル電話、メールで対応した。

コロナ禍による緊急事態宣言発令中には既存のトリオフォン3者通話システムを活用して、部分的な在宅勤務を実施。居ながらにして数多くの相談に対応した。

市内の各区役所を訪問し、設置されているタブレット端末によるワンストップセンターとのテレビ電話相談の促進活動を行った。

毎月課内会議にて相談内容や情報の共有、報告会を実施し、相談対応の質の向上に努めた。

(1) センター相談事業 (2-4)

川崎市国際交流センター

相談員 12 名（含 8 人母国語スピーカー）による相談業務を実施
 相談曜日・時間：月曜～土曜 10:00～12:00、13:00～16:00
 やさしい日本語・英語・中国語：月～土
 スペイン語・タガログ語・インドネシア語：火・水
 韓国・朝鮮語：火・木
 ポルトガル語・ベトナム語：火・金
 タイ語：月・火
 ネパール語：火・土

(2) 相談実績

川崎市国際交流センターにおける年間相談数 2,895 件（昨年比 70%増）

1 相談対応言語

英語	中国語	韓国語	ポルトガル語	スペイン語	タガログ語	ベトナム語	インドネシア語	ネパール語	タイ語	日本語
679	314	36	93	185	210	44	22	470	148	692
※複数言語で対応した場合は、主要な対応を行った言語に計上 ※「その他」言語については、対応言語と件数を直接下欄に記入 （複数ある場合は、並記）						クメール語	ミャンマー語	モンゴル語	その他	合計
						0	0	0	2	2,895 人

2 相談者数

来訪	電話	その他（手紙、メール等）	合計
834	1770	291	2,895 人

※相談者の相談が複数回にわたる場合は、それぞれを 1 件として計上

3 国籍等別の相談者数

中国	台湾	韓国	フィリピン	インドネシア	ネパール	スリランカ	トルコ	ブラジル	ペルー	タイ
337	5	46	312	33	532	27	4	107	144	160
ベトナム	カンボジア	ミャンマー	モンゴル	アフリカ諸国	欧米諸国	オセアニア	日本	その他	不明	合計
64	3	1	0	54	229	8	411	301	117	2,895 人

※集計を行っていない場合は、不明に計上

4 申出のあった相談内容別件数

入管手続	雇用・労働	社会保険・年金	税金	医療	出産・子育て	教育 (学校・大学・国際学校など)	日本語学習	防災・災害	住宅	身分関係 結婚/離婚/DV等
173	124	104	84	109	123	226	373	3	142	66

交通・運転免許	通訳・翻訳	その他	合計	コロナ(内数)
10	523	835	2,895 件	619

※相談内容が複数にわたる場合は、それぞれを1件として計上(例: 入管手続と住宅について相談があった場合は、入管手続1件、住宅1件として計上)

(3) 相談支援 (2-4)

ア 専門相談・各種連絡会議等

(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 14:00~16:00)

(外部機関)

かながわ外国人居住支援NW運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市DV被害者支援対策推進会議、中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会、関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、多言語支援センターNW会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会、行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査協力依頼への回答多数

イ 相談員研修

当協会の相談員全員による相談事案の共有と情報交換のためのミーティングや研修を、原則毎月第4火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

- 第1回 令和2年 9月8日(火)「市営住宅申し込み書書き方」 住宅供給公社等
- 第2回 10月5日(月)~7日(水) オンライン研修「出入国在留管理について」
- 第3回 10月27日(火)「在留資格について」 東京出入国在留管理局横浜支局
- 第4回 令和3年 2月2日(水)~4日(金) オンライン研修「東京出入国在留管理局」
- 第5回 2月16日(火)「相談員心理研修」 大学教授

ウ 外部研修会等への派遣

- 第1回 令和2年 8月27日(木)~28日(金)「外国人相談窓口運営」
- 第2回 10月12日(水)~14日(金)「震災時における外国人への支援セミナー」
- 第3回 11月21日(日)「発達障害外国にルーツをもつ子ども」
- 第4回 11月29日(月)「外国につながる子ども支援」

VI その他の事業

■10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー（再掲）

初中級レベルの英語力で、外国人を案内・交流したいと考えている人材を対象に研修を開催し、訪日外国人についてや川崎でのおもてなしポイントを学んだ。

(2) パラリンピック競技種目体験

ボッチャ協会から指導員を招いてボッチャ競技体験による留学生と交流する会を予定していたがコロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。

■11 国際交流センター設置目的に沿った事業

(1) センターアートの鑑賞デー

2020 かわさき国際交流センターニュース『SIGNAL』秋号の特集に取り上げた、国際交流センター内に展示されている絵画・工芸品、また芸術家が作った照明等に解説をつけて、有償の貸館エリアも自由に鑑賞できるようにし、多くの市民に芸術鑑賞の機会を提供するために実施した。

後日、フェイスブックを使用してオンラインでも鑑賞できるようにした。

(日時) 令和2年10月10日(土) 10:00~16:00

* 川崎市国際交流センター開設記念日

(10月12日)にちなみ、10月10日(土)

を設定。

(紹介作品と展示場所)

- 1、油絵「ダイヤモンド宮殿の中庭」
プロムナード
 - 2、照明彫刻「光の船」 レセプションルーム
 - 3、民俗芸能「鹿踊」の装束 情報ロビー
 - 4、タピストリー「FLAG」 ホールホワイエ
 - 5、「ゲイバウ」(ベトナムの籠船)
姉妹友好都市ギャラリー
 - 6、墨象「出偶い(ENCOUNTER)」 特別会議室
 - 7、庭園と石の彫刻 中庭
 - 8、「南極の石」 図書・資料室前
 - 9、彫像「兵馬俑」 図書・資料室前 ほか
- (参加人数) 70名
(ボランティア人数) 10名



(2) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援（自主事業）

ア 外国につながる子どものための寺子屋先生養成講座

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	7月7日(火) 13:30~15:30	日本語と強化学習支援の方法① 日本語力ゼロの子どもたちとどう向き合うか	特定非営利活動法人 日本語・教科学習支援ネット 講師	17名
2	7月14日(火) 13:30~15:30	日本語と強化学習支援の方法② 生活言語と学習言語の違い	特定非営利活動法人 日本語・教科学習支援ネット 講師	18名
3	7月21日(火) 13:30分~15:30	川崎市内の外国につながる子どもたちの現状と課題~学校の取り組み	川崎市教育委員会事務局 教育政策室人権・多文化共生教育指導主事	18名
4	7月28日(火) 13:30~15:30	外国につながる子どもを取り巻く環境と国際交流センターの寺子屋	多文化活動連絡協議会 代表	18名



イ 外国につながる子どもの寺子屋（教育委員会事業 住吉小学校寺子屋分校）
（期間）令和2年6月20日（土）～令和3年3月27日（土） 39回（体験学習なし）
（参加者）学習者（児童） 延べ412名
ボランティア 延べ428名

月	登 録 状 況	回 数	延べ学習者
4月	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	0回	0名
5月	コロナウイルス感染拡大防止のため中止	0回	0名
6月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	2回	15名
7月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	4回	45名
8月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	5回	51名
9月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	4回	49名
10月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	5回	58名
11月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	4回	46名
12月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	4回	49名
1月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	4回	30名
2月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	3回	29名
3月	ボランティア17名、外国人児童参加者17名	4回	40名

（総括）

2020年度はコロナの影響で6月から寺子屋事業を開始した。寺子屋はコロナ対策を徹底し、対面で開

催した。外国につながる児童は絶えず申し込みがあるが、コロナ対策をしているため人数制限をしており、受け入れできずにいる児童がいる。支援を必要とする児童を待たせることなく受け入れる環境をつくりたい。



■12 施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営（JV）

ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯に表示し、来館者の利便性を図った。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業の開催について説明し、施設の利用促進を図った。

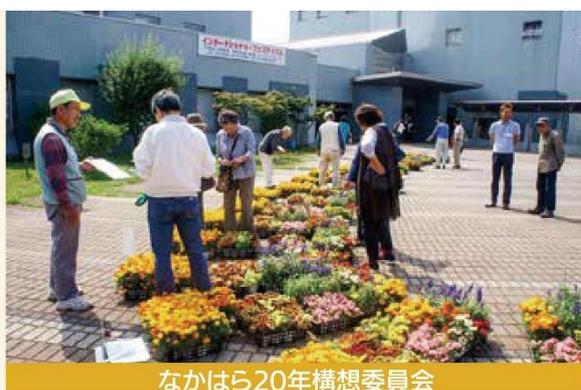
(ウ) 随時、施設見学の要望を受けて市民への利用促進を図った。

(エ) 国際性あふれる施設空間の活用として、玄関前広場の市民利用を促進した。

日 時	内 容
4月23日（木）	フリーマーケットとワークショップ（中止）
5月29日（金）	フリーマーケット（中止）
6月19日（金）	花の配布会場
6月26日（金）	フリーマーケット
7月31日（金）	フリーマーケット
8月21日（金）	フリーマーケット
9月25日（金） ～26日（土）	フリーマーケット（25日は雨天により中止）

10月23日(金)	フリーマーケット(雨天により中止)
10月31日(土)	フリーマーケット
11月3日(火)	フリーマーケット
11月18日(水)	花の配布会場
11月27日(金)	フリーマーケット
12月13日(日)	ボーイスカウト活動
12月25日(金)	フリーマーケット
1月29日(金)	フリーマーケット
2月9日(火)	防災訓練(中止)
2月20日(土)	フードパントリー会場
2月26日(金)	フリーマーケット
3月2日(火)	中学校遠足集合解散場所
3月20日(土)	フードパントリー会場およびフリーマーケット
3月26日(金)	フリーマーケット

4/11(土)～5/31(日) コロナウイルス感染症感染拡大防止のため閉館



なかはら20年構想委員会



★もとすみよし みんなの市場★ 通称【もと市】

エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を书面で開催し、各委員より文書にてセンターへの意見・要望を募った。

(ア) 令和3年3月12日(金)

議事：センター利用者アンケート集計結果について

川崎市国際交流センター指定管理者としての評価について

a 「センター利用者アンケート集計結果について」への意見等を受けて

- ・ 受付担当をはじめ、職員の対応及び施設がきれいで使いやすいとの評価をいただき、さらに継続できるように取り組むとともに、ホームページのリニューアルや、今後の施設の管理運営に対する意見を生かしていきたい。
- ・ 駅から遠いといった意見に対する改善策については引き続き検討するとともに、広い、各種施設が用途によって使える、利用料が安い、といった当センターの利点をPRし、利用者の拡充を図っていきたい。
- ・ 外国人利用者からの回答を得るために、やさしい日本語のアンケート用紙を用意するなどの工夫が必要である。

b 「川崎市国際交流センター指定管理者としての評価について」への意見等を受けて

- ・ 多文化共生総合相談ワンストップセンターの開設により相談件数が上がった。より効果的な周知に努めニーズに対応していきたい。
- ・ センター活用推進検討委員会に対する期待も寄せられていることから、今後とも各委員の力もお借りして、事業や施設管理に対し適切な運営を行っていきたい。

オ 自動販売機、コピー機、AED（エントランスロビー）、及びインターネットを無料で提供できるWi-Fi（エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室）を設置することで、利用者へのサービスを提供した。

カ レセプションルームに、インターネット環境を無料で提供できるWi-Fiを設置し、利用者へサービスを提供した。

キ 撤去された館内の公衆電話の代わりに、特殊簡易公衆電話（通称ピンク電話）を設置し、利用者の利便性を図った。

ク 外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

令和3年2月に予定をしていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。

ケ 利用者アンケートの実施

「センターの使いやすさ」の満足度や、施設内の「自動販売機」や、「ホームページ」、「これからセンターにできたら良いと思うもの」を調査し、施設整備などに反映させるため利用者アンケートを実施した。

（実施期間）令和2年11月28日（土）～令和3年1月31日（日）

（回答数）302名

アンケート結果については、■16利用者アンケート(1)に掲載

コ 図書・資料室管理業務

（ア）図書・資料の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び受入・配架作業を行い、利用者へ国際交流・理解に役立つ情報提供を行った。

（イ）小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

（ウ）利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月発行し、新着図書の紹介や、特集としてテーマ別の図書の紹介を行った。各210部発行し、近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

（エ）定期的に行う新着図書コーナー、隔月毎に行う展示コーナーやおすすめ本コーナーにおいて、多くの入館者に対して様々なジャンルの本の紹介を行った。

（オ）多文化共生課の相談員の協力のもと、拡充言語のベトナム語・タイ語を主とした、外国語図書の収集を行った。

また SIGNAL に外国語図書寄贈のお願いを掲載し、外国語図書の収集を図った。

（カ） SIGNAL に図書室の紹介記事を掲載する他、SNS で「図書・資料室だより」や室内の「展示コーナー」等の紹介をするなど、図書・資料室の周知を行った。

（キ）コロナウイルス感染症対策として、室内のレイアウトや利用方法の見直し、室内の換気・清掃に力を入れるなど、利用者が安心して図書・資料室を利用できるよう努めた。



人気の「はらぺこあひむし」は7か国語で読み比べができます。フルドット語のセリフのお話など、その国の文化を感じられる絵本もあります。

サ 施設・設備の維持管理及び補修業務

- (ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。
- (イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施し予防保全に努めた。
- (ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ効率的な補修を実施した。
- (エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

シ 舞台及び AV 機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

ス 施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

セ 駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。駐車場の有料化に伴い、毎日の売上金の回収、集計、駐車場利用者のデータ集計を実施した。

ソ 設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

タ 施設環境衛生管理業務

- (ア) 「建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）」に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い、快適な利用空間を提供した。
- (イ) 空気環境測定業務 年 6 回（奇数月）
- (ウ) 飲料水水質検査 年 2 回（2 月・8 月）
- (エ) 給湯水水質検査 年 2 回（2 月・8 月）
- (オ) 害虫防除 年 12 回
- (カ) レジオネラ症対策
空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年 2 回（6 月・8 月）

チ 施設清掃業務

- (ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。
- (イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。
- (ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

ツ 植栽維持管理業務

- (ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。
- (イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。
- (ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

ア 施設の改修

- ・ 給湯室・ホワイエ照明器具 LED 化工事
- ・ 消防点検是正工事
- ・ 冷温水発生機配管工事
- ・ 地下駐車場看板改修工事
- ・ ホール・レセプション音響設備アンプ交換
- ・ 温水器循環ポンプ更新工事 (2 台)
- ・ レセプション横外部扉フロアーヒンジ交換
- ・ 多目的広場地面陥没修繕工事
- ・ 多目的トイレ照明改修工事 (レセプションルーム側)

イ 施設的环境整備等

- ・ 談話ロビー、情報ロビーダウンライト 20 カ所 LED 照明交換工事
- ・ 1 階女子トイレ人感センサー付き LED 照明交換工事
- ・ ホール、レセプションルーム用ホワイトボード計 3 台交換
- ・ 業務用椅子 5 脚交換
- ・ 出入口マット 3 枚交換
- ・ ホワイトボード 1 台修理
- ・ レクチャー台マイク 1 個修理
- ・ トイレ洗浄暖房便座修理
- ・ 絵画額縁 1 台修理

(3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成 20 年 8 月に川崎市国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受

け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人たちに、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。

「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成28年1月に設立されたが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

イ 設備の概要

・太陽光発電（合計出力） 6. 25KW

（内訳）川崎市国際交流センター陸屋根設置分 4. 32KW、プロムナード上部設置部分 1. 93KW

・事業費 約 850 万円

（内訳）寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

(4) 施設利用実績

ア 令和2年度 川崎市国際交流センター来館者数（月別）

月	開館日数	施設利用者							外国人利用 (内数)	合計
		有料施設	図書・資料室	団体活動 ルーム 協会会議 室	その他	インターネット 利用	内外国人 (再掲)	申請者		
4月	10日	957	0	69	575	32	(2)	23	24	1,656
5月	0日	0	0	0	25	0	(0)	0	2	25
6月	28日	2,583	368	365	2,130	56	(9)	77	281	5,579
7月	30日	4,930	401	640	2,135	68	(5)	82	377	8,256
8月	30日	3,920	514	622	2,100	83	(13)	52	281	7,291
9月	29日	5,710	544	812	1,970	85	(3)	66	614	9,187
10月	30日	6,465	635	1,776	2,555	76	(2)	54	874	11,561
11月	29日	6,570	629	1,758	2,250	69	(2)	64	720	11,340
12月	28日	5,910	546	1,271	2,022	65	(0)	53	362	9,867
1月	27日	3,960	531	766	2,030	53	(1)	54	439	7,394
2月	27日	4,520	676	1,133	2,080	65	(1)	63	646	8,537
3月	29日	7,110	583	966	2,700	75	(3)	79	624	11,513
合計	297日	52,635 人	5,427 人	10,178 人	22,572 人	727人	(41人)	667人	5,244 人	92,206 人

外国人市民来館者数（内訳）					
	協会(含相談)	日本語学習者	図書	その他(受付)	外国人計
4月	2	0	0	22	24
5月	2	0	0	0	2

6月	43	0	5	233	281
7月	44	130	2	201	377
8月	48	0	5	228	281
9月	45	279	3	287	614
10月	41	503	13	317	874
11月	38	391	7	284	720
12月	26	113	10	213	362
1月	31	88	21	299	439
2月	48	382	12	204	646
3月	61	288	12	263	624
	429人	2,174人	90人	2,551人	5,244人

イ 川崎市国際交流センター施設利用状況（年間開館日数：296日）

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール（264）	479	55.4	特別会議室（28）	28	3.2
レセプションルーム	332	38.4	特別応接室（8）	58	6.7
会議室（第1）（36）	389	44.0	料理室（24）	81	9.4
会議室（第2）（24）	381	43.1	交流サロン（30）	581	67.2
会議室（第3）（24）	398	45.0	茶室	145	16.8
会議室（第4）（30）	349	39.4	レクリエーションルーム	779	90.2
会議室（第5）（30）	373	42.1			
会議室（第6）（18）	515	58.2			
会議室（第7和室）（10）	495	55.9			

（注） 1 （ ）は通常の定員数

※新型コロナウイルス感染予防対策として各施設の利用定員を減員している時期がある。

運動や歌など利用内容によってはさらに人数制限を行った。

2 利用コマ数は、利用区分（午前、午後、夜間）合計の実利用数。

3 利用率は、小数点以下2桁を四捨五入。

ウ ロケによる施設の利用実績

特別会議室	映画の撮影	1件
	テレビドラマの撮影	1件
レセプションルーム	テレビドラマの撮影	1件

エ 貸出施設の新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための制限等

- ・4月11日～5月31日 全館休館
- ・6月1日～ 第1～第7会議室の利用再開（定員数の制限あり）
- ・6月9日～ すべての貸館利用施設の利用再開（定員数の制限あり）
- ・9月19日～ ホール、レセプションルームを除き貸館施設の定員を通常に戻す
- ・12月1日～ 交流サロンでの飲食禁止（カラオケ設備は6月から利用不可）

- ・12月12日～ 利用に際して「感染症対策チェックリスト」の提出
- ・1月9日～3月21日 新規の夜間区分の受付停止
- ・1月14日～ 各貸館利用施設の利用定員数の変更（利用者数の制限）

(5) 収支状況

ア 収入	200,231,029 円	(H31 210,187,520 円)
(ア) 指定管理料	179,384,647 円	(H31 177,831,415 円)
(イ) 利用料金収入	16,859,215 円	(H31 26,381,595 円)
(ウ) 事業収入	2,009,014 円	(H31 3,590,608 円)
(エ) その他収入	1,978,153 円	(H31 2,383,902 円)
イ 支出	199,889,821 円	(H31 213,533,533 円)
(ア) 情報収集・提供事業	2,936,836 円	(H31 3,122,876 円)
(イ) 広報出版事業	1,319,080 円	(H31 1,303,283 円)
(ウ) 研修事業	2,185,203 円	(H31 3,081,106 円)
(エ) 国際交流促進事業	1,661,540 円	(H31 1,304,592 円)
(オ) 外国人相談事業	24,342,961 円	(H31 21,330,776 円)
(カ) その他の事業	493,452 円	(H31 780,819 円)
(キ) 事業人件費	22,770,642 円	(H31 25,388,998 円)
(ク) センター管理費	144,180,107 円	(H31 157,221,083 円)

(6) 広告の掲載

ア 広報誌「SIGNAL」への広告掲載	
・夏号 1件	
・秋号 2件	
・冬号 2件	
・春号 2件	合計 7件 56,000 円
イ ホームページのバナー広告掲載	
・年間 4件の掲載	合計 53,000 円

■13 個人情報の保護状況

川崎市個人情報保護条例（昭和60年6月29日条例第26号）をはじめとした関係法令を遵守し、指定管理者である公益財団法人川崎市国際交流協会・株式会社東急コミュニティー共同事業体の代表企業が定める「公益財団法人川崎市国際交流協会個人情報保護規程」及び「川崎市国際交流センター指定管理者個人情報保護規程」や、プライマシーマーク登録企業である構成企業が定める各種規定に基づき情報管理を徹底している。また、事務局内に個人情報保護管理者を置き管理運営を行うとともに、個人情報保護研修を例年実施している。

■14 利用者アンケートの実施

(1) 施設利用者アンケート

「センターの使いやすさ」の満足度や、施設内の「自動販売機」や、「ホームページ」、「これからセンターにできたら良いと思うもの」を調査し、施設整備などに反映させるため利用者アンケートを実施した。

(実施期間) 令和2年11月28日(土)～令和3年1月31日(日)

(回答数) 302名

令和2年度利用者アンケート結果

期間 2020年11月28日～2021年1月31日 回収 302枚

●センター利用回数	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
302	102	117	60	23

●国籍	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
無回答	2	1	1	0	0
日本	287	97	107	60	23
日本以外	13	4	9	0	0

●年代	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
10代	38	28	5	4	1
20代	16	3	5	2	6
30代	27	8	12	5	2
40代	62	15	21	17	9
50代	58	15	26	16	1
60代	58	21	25	11	1
70代	39	11	20	5	3
80代以上	4	1	3	0	0

●職業	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
学生	47	30	11	4	2
主婦	90	27	48	11	4
勤労者	85	17	26	31	11
自営業者	34	11	14	4	5
無職	36	11	14	10	1
その他	10	6	4	0	0

●住まい	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
中原区	200	76	79	42	3
川崎区	1	0	0	0	1
幸区	24	5	5	5	9

高津区	15	5	5	4	1
宮前区	12	4	6	1	1
多摩区	7	2	4	0	1
麻生区	3	0	2	1	0
川崎市以外神奈 川県	21	5	9	4	3
東京都	12	4	3	3	2
その他	7	1	4	0	2

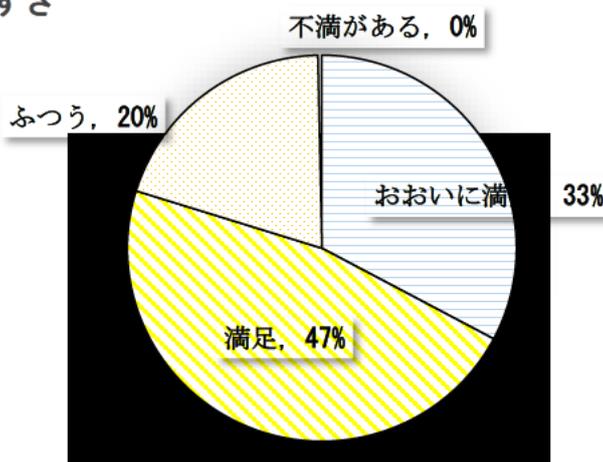
●交通手段	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
徒歩	96	37	35	18	6
自転車	116	37	51	25	3
車	47	15	15	11	6
タクシー	3	0	0	0	3
電車（元住吉駅 から）	23	6	10	4	3
電車（武蔵小杉 駅から）	3	0	1	0	2
電車（その他駅 から）	7	5	1	1	0
バス	5	2	3	0	0
その他	2	0	1	1	0

●主な利用目的 （複数回答）	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
ホール	54	21	14	15	4
レセプションル ーム	66	22	25	13	6
交流サロン	43	24	13	4	2
料理室	8	2	4	2	0
レクリエーショ ンルーム	47	12	25	8	2
第1～7会議室	90	23	41	18	8
談話ロビー	19	4	8	7	0
情報ロビー	16	7	5	4	0
図書・資料室	37	14	14	7	2
多目的広場	5	1	2	1	1
中庭（イベント 広場）	14	2	6	6	0
外国人相談	1	0	1	0	0

その他（講座）	23	14	7	2	0
その他（寺子屋）	2	2	0	0	0
その他（にほんごサロン）	4	1	3	0	0
その他	16	6	7	3	0

●センターの使いやすさ	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
おおいに満足	99	49	31	9	10
満足	142	41	60	32	9
ふつう	60	11	26	19	4
不満がある	1	1	0	0	0

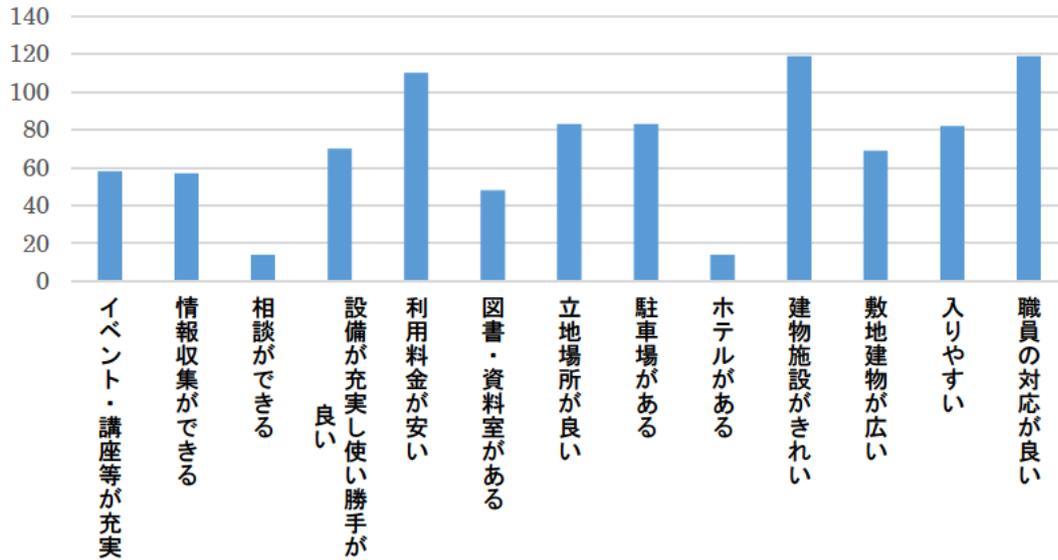
センターの使いやすさ



●良いところ （複数回答）	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
イベント・講座等が充実	58	23	23	8	4
情報収集ができる	57	22	20	14	1
相談ができる	14	6	8	0	0
設備が充実し使い勝手が良い	70	21	32	12	5
利用料金が安い	110	44	41	22	3
図書・資料室がある	48	21	17	9	1
立地場所が良い	83	35	34	13	1
駐車場がある	83	25	34	19	5
ホテルがある	14	5	7	2	0
建物施設がきれい	119	53	42	16	8
敷地建物が広い	69	33	20	11	5

入しやすい	82	33	32	14	3
職員の対応が良い	119	47	51	16	5
その他	6	2	4	0	0

センターを利用して良いと思うところ



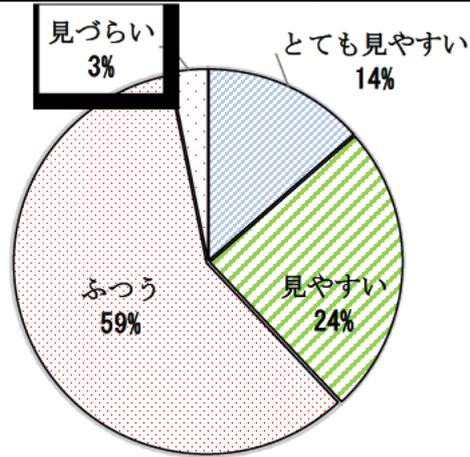
●自動販売機の利用	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
無回答	17	4	4	5	4
よく利用する	20	9	6	4	1
時々利用する	131	45	61	20	5
利用しない	134	44	46	31	13
利用しない理由					
設置場所を知らない	21	6	5	6	4
設置場所が不便	2	0	0	1	1
飲みたい飲料水がない	2	1	1	0	0
値段が高い	4	2	1	1	0
コンビニエンスストア等で買う	15	3	10	2	0
飲まない	64	28	20	10	6

●ホームページについて	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
無回答	11	2	2	3	4
週に1回以上見る	24	22	1	1	0
月に1～3回程度見る	53	25	20	7	1
年に数回程度見る	115	33	47	26	9

見たことがない	99	20	47	23	9
---------	----	----	----	----	---

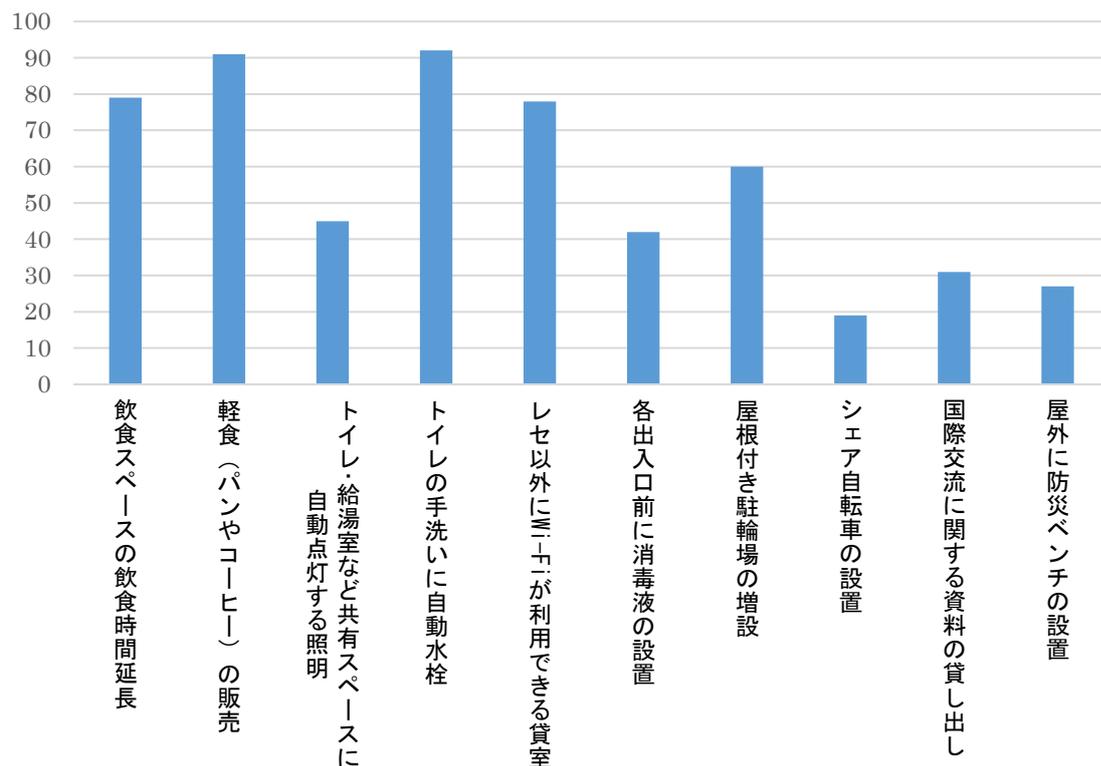
●ホームページの見やすさ	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
とても見やすい	26	20	1	2	3
見やすい	47	21	16	6	4
ふつう	113	37	47	24	5
見づらい	6	2	2	2	0

見たことがある方192名
ホームページの見やすさについて



●これからできたら良いもの（複数回答）	合計	週に1回以上	月に1～3回程度	年に数回程度	初めて
飲食スペースの飲食時間延長	79	18	35	18	8
軽食（パンやコーヒー）の販売	91	39	33	16	3
トイレ・給湯室など共有スペースに自動点灯する照明	45	17	17	8	3
トイレの手洗いに自動水栓	92	26	37	22	7
トイレ以外にWiFiが利用できる貸室	78	24	30	20	4
各出入口前に消毒液の設置	42	16	18	5	3
屋根付き駐輪場の増設	60	32	23	4	1
シェア自転車の設置	19	6	5	6	2
国際交流に関する資料の貸し出し	31	9	16	4	2
屋外に防災ベンチの設置	27	11	12	3	1

これからセンターにできたら良いと思うもの



(2) 外国人市民利用者アンケート (回答数) 127 枚

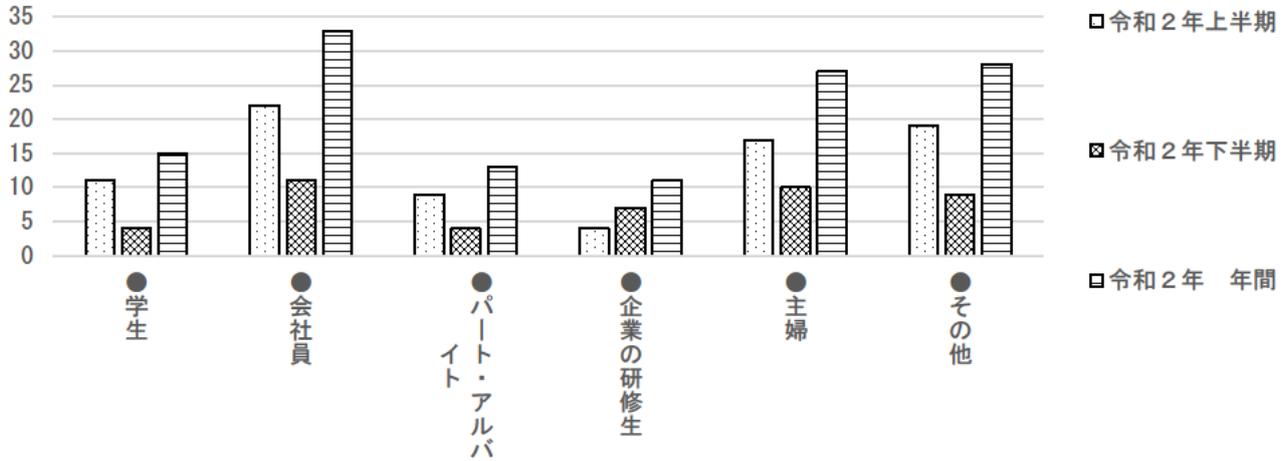
	英語	中国語	韓国語	スペイン語	ポルトガル語	タガログ語	タイ語	インドネシア語	ネパール語	ベトナム語	日本語	
職業												
●学生	5	2	0	0	2	1	2	0	1	2	0	15
●会社員	9	4	1	2	2	8	0	1	2	1	3	33
●パート・アルバイト	2	1	0	1	1	7	1	0	0	0	0	13
●企業の研修生	0	0	0	0	0	0	4	0	6	1	0	11
●主婦	3	10	1	0	0	3	6	0	2	0	2	27
●その他	17	0	0	2	0	1	0	1	5	0	2	28
住む場所												
●川崎区	13	4	0	2	4	7	3	0	5	2	1	41
●幸区	3	2	0	1	0	4	0	1	0	0	1	12
●中原区	15	4	2	0	0	3	2	1	8	1	3	39
●高津区	1	5	0	0	0	3	0	0	0	1	1	11

●宮前区	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
●多摩区	1	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	6
●麻生区	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
●横浜市	1	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	6
●東京都内	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0	1	5
●その他	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	3
日本に住む期間												
●6か月未満	2	2	1	1	0	3	1	0	0	1	0	11
●6か月以上—1年未満	23	1	1	0	0	0	8	0	0	0	0	33
●1年以上—2年未満	4	1	0	0	2	1	2	0	0	0	0	10
●2年以上	7	14	0	4	2	16	2	2	16	3	7	73
日本に住む予定期間												
●6か月	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2
●1年	7	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	10
●2年	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
●3年以上	28	17	2	4	2	19	11	2	16	2	6	109
日本の生活や手続きで困った事												
●ビザ	10	3	0	0	2	4	3	0	7	2	0	31
●区役所(税金・健康保険)	22	3	1	1	0	12	1	1	2	0	0	43
●銀行	13	2	0	0	2	2	2	0	0	1	0	22
●住むところ	15	3	0	0	1	2	0	0	2	0	1	24
●ごみの捨て方	1	2	0	0	1	1	2	1	1	0	0	9
●子育て(保育園・学校)	4	1	0	0	0	7	2	0	2	0	0	16
●病院	4	0	0	0	2	4	2	1	2	0	1	16
●モバイルの契約	12	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	17
●その他	15	6	0	2	1	1	5	0	4	0	3	37
国際交流センターを知ったきっかけ												
●インターネット	8	2	2	1	2	2	5	0	4	1	2	29
●学校	0	1	0	0	0	3	0	0	1	0	0	5
●会社	0	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	4
●友達	5	5	0	2	1	7	4	2	5	2	0	33
●区役所	8	6	0	1	1	3	0	0	8	1	2	30
●その他	15	2	0	1	0	4	2	0	0	0	3	27
国際交流センターを利用したことがあるか												

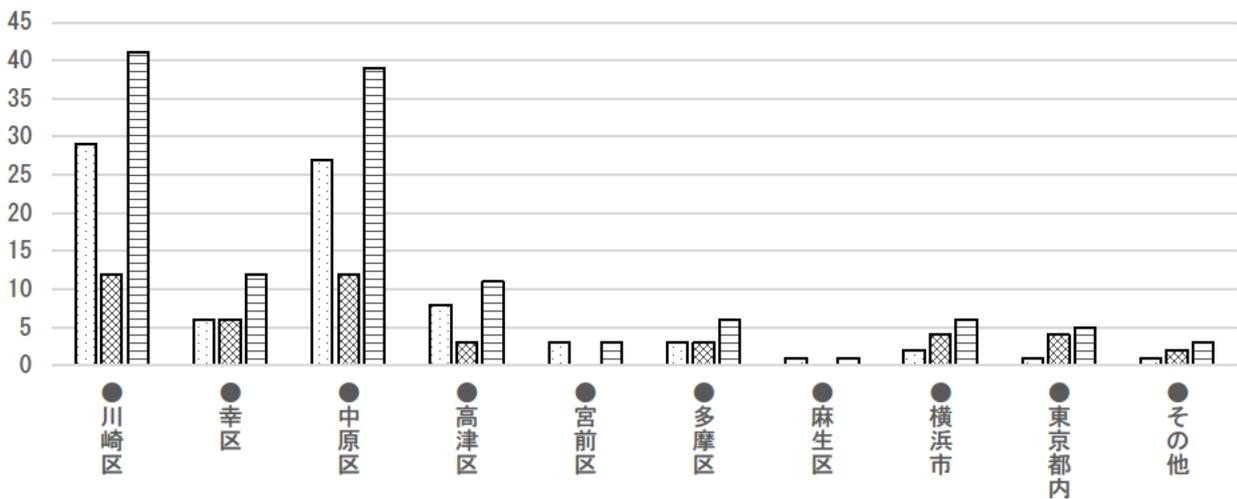
●はじめて利用した	14	7	2	3	2	10	7	2	13	1	4	65
●ある	20	9	0	2	2	9	6	0	6	4	2	60
*日本語講座	4	0	0	1	0	5	1	0	1	2	0	14
*外国人相談	16	3	0	0	3	4	4	0	4	1	0	35
*インターナショナル・フェスティバル（7月）	0	5	0	1	0	1	0	0	0	0	1	8
*その他	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3
どんなイベントや講座に興味があるか												
●自分の国の文化や言葉を紹介する	9	5	1	2	1	6	4	1	5	2	1	37
●生活に役に立つ知識を得る	17	8	1	2	3	10	9	1	4	4	3	62
●日本の伝統文化や季節を体験する	19	8	1	1	3	10	4	1	5	1	2	55
●その他	4	0	0	1	1	3	0	2	1	0	1	13
仕事の面接	1											1
新しい人と会う	1											1
他国の人と交流								1				1
色々なことに興味がある	1											1
地域の住民と交流する				1								1
新しい事を学ぶ								1				1
環境を大切にする						1						1
ボランティアやスタッフとしてイベントや講座に参加してみたいですか												
●はい	17	4	2	4	2	10	4	2	6	3	1	55
*どんなを事をしたいですか	英語のアドバイスを皆にシェアしたい、文化交流 自分の国の文化、飲食 スポーツイベント、韓国語講座 イベント、曜日による、都合がよければ、人を助ける インドネシアの文化を紹介 休みの日にできる活動、花についてのイベント											
●いいえ	9	8	0	0	1	3	8	0	7	1	5	42
国際交流センターを利用する時に困った事がありますか												
●はい	1	1	0	0	0	4	1	0	5	1	1	14
*センターへの案内板が少なくてわかりにくい	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0	0	5
*建物の中の多言語表示が少なくてわかりにくい	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	1	5

*その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
●いいえ	26	12	2	3	4	11	12	2	9	3	5	89

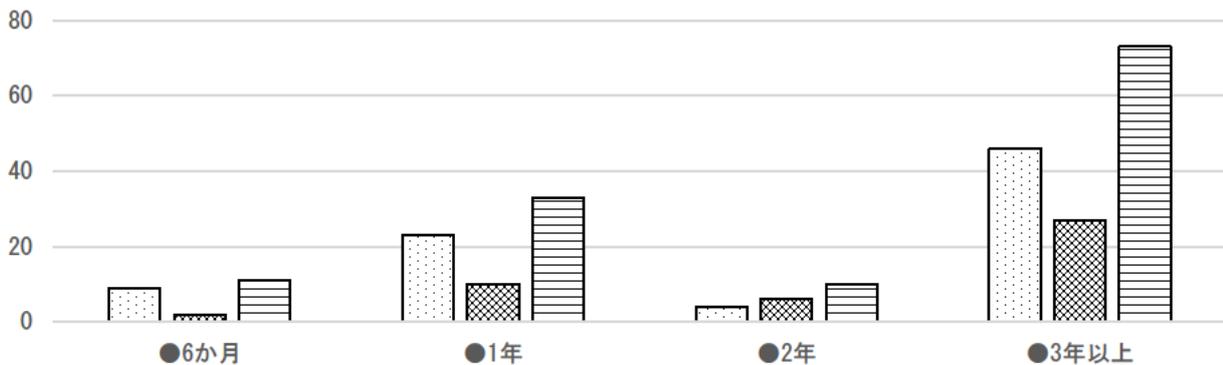
職業



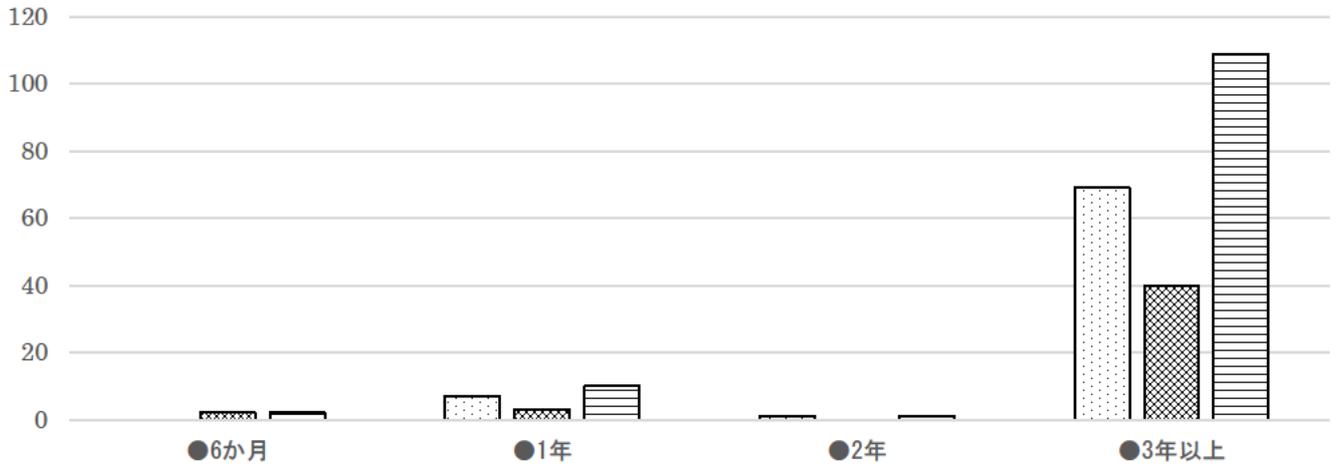
住む場所



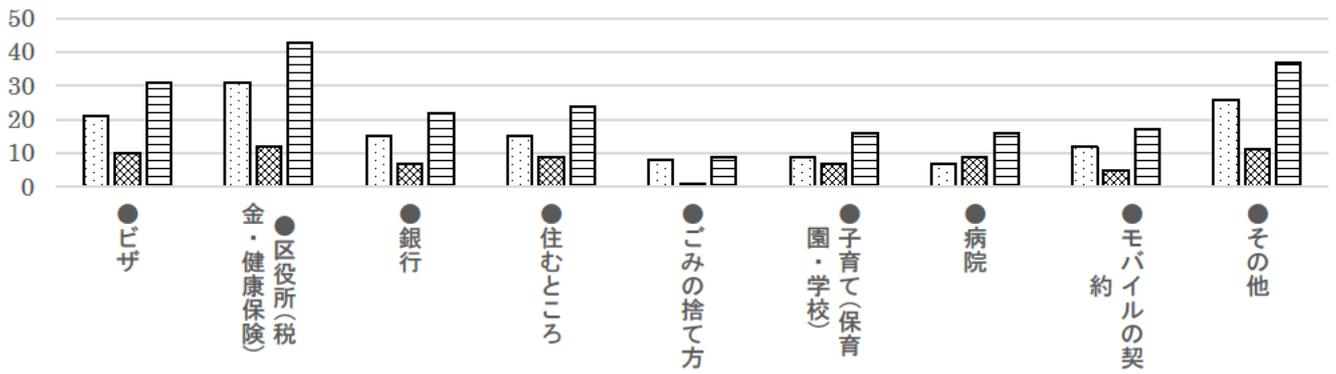
日本に住む期間



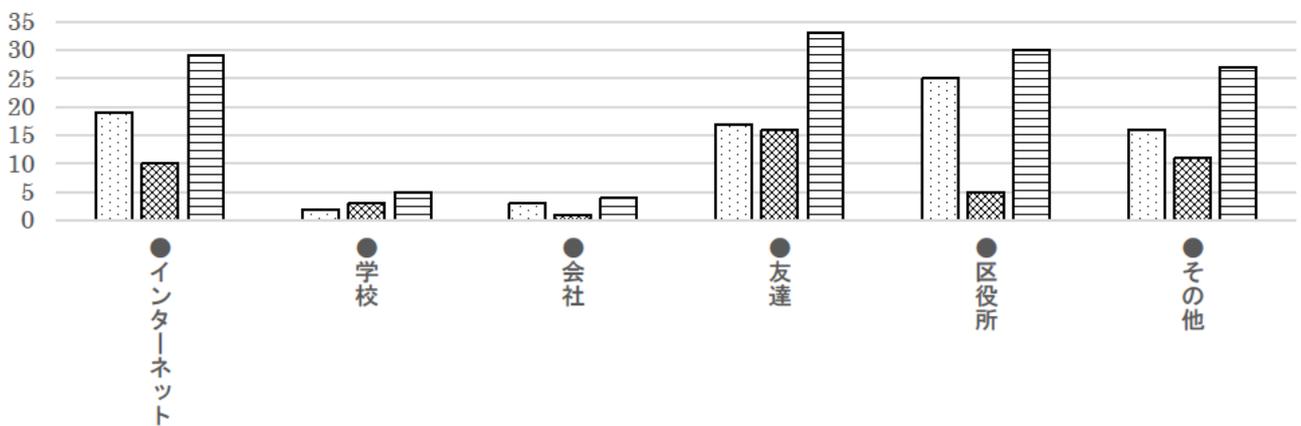
日本に住む予定期間



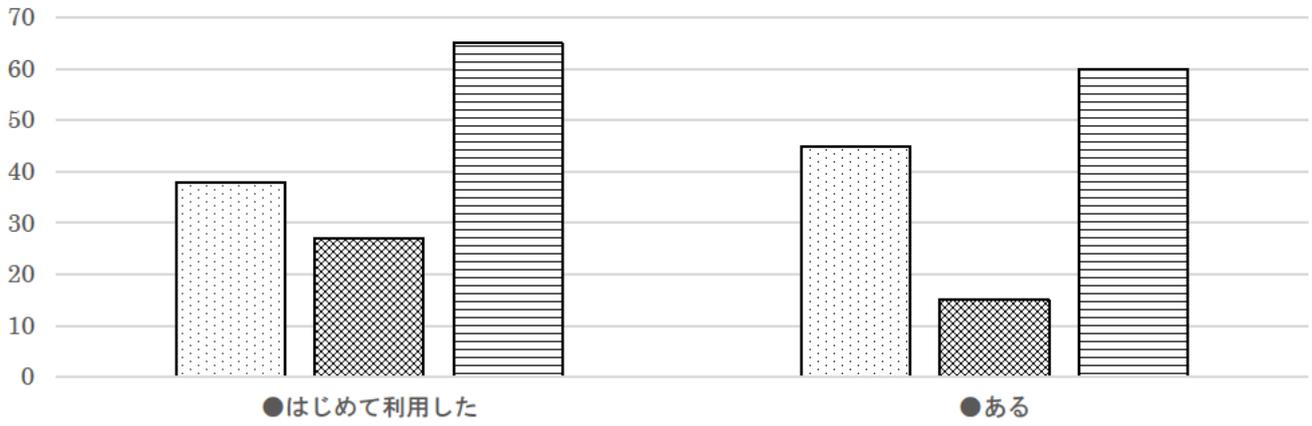
日本の生活や手続きで困った事



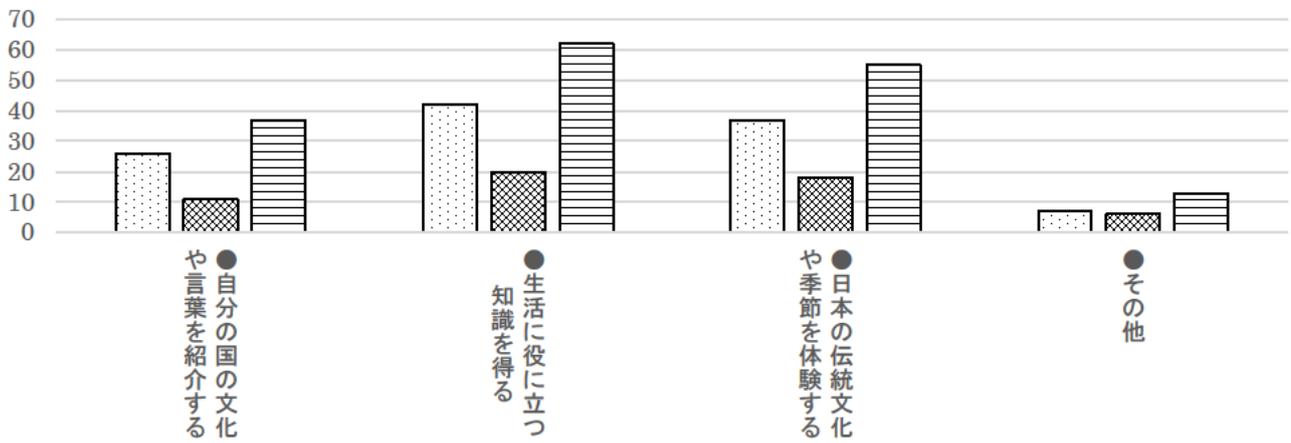
国際交流センターを知ったきっかけ



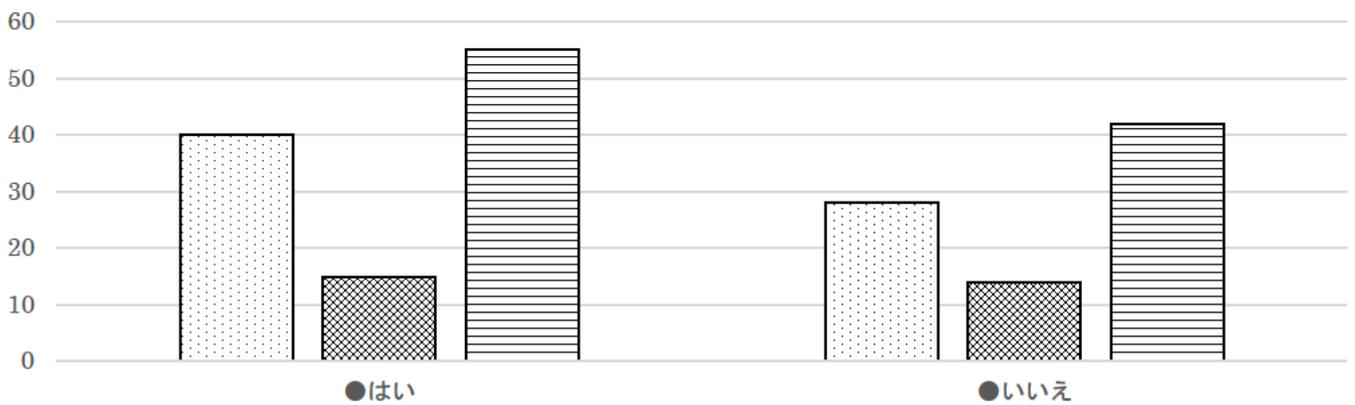
国際交流センターを利用したことある



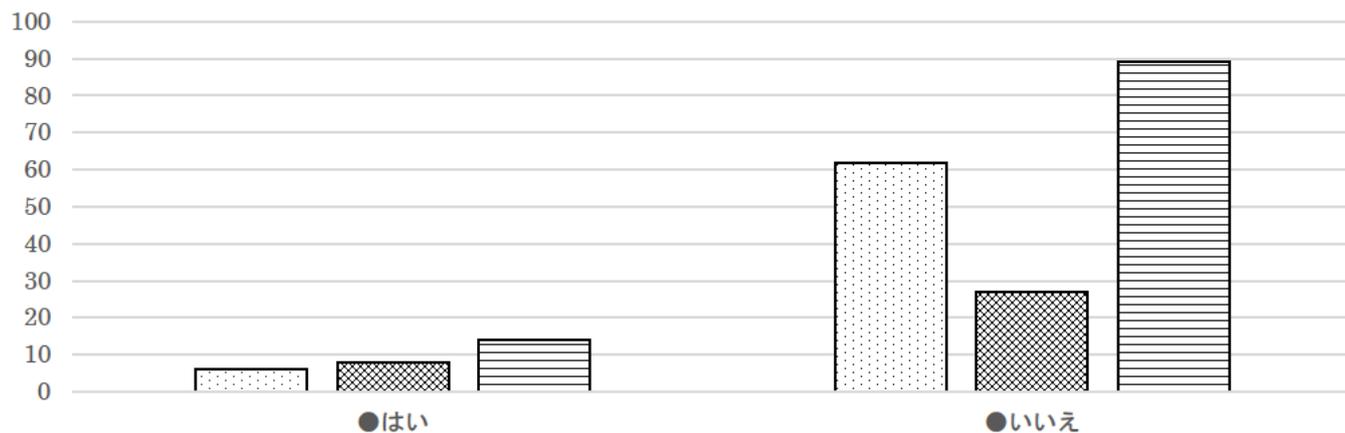
どんなイベントや講座に興味があるか



ボランティアやスタッフとしてイベントや講座に参加してみたい



国際交流センターを利用する時に困った事ありますか



■15 利用者からの意見等に対する対応状況

利用者からの意見等	対応状況（改善内容）
4月21日20時頃に近隣住民の方より、電話にて玄関前広場でのスケートボードの音がうるさいとの苦情が受付に寄せられた。	当該者に対して職員から注意し、スケートボードの利用を控えてもらった。
6月20日17時30分頃に近隣住民の方より、電話にて玄関前広場で音楽をかけて踊っている若者の音等がうるさいとの苦情が受付に寄せられた。	当該者に対して職員から注意し、利用を控えてもらった。
7月3日に近隣住民の方より、センター北側あたりの枯れた花と雑草について、景観的にも問題があるので整備してほしいとの意見が受付に寄せられた。	当該敷地については、歩道部分であり管轄外となるため、管轄している道路公園センターに近隣住民から意見が寄せられたことを連絡した。
8月23日に図書・資料室の利用者の方より、タガログ語の新聞の配置がなくなってしまったが、ぜひ入れてほしい旨の意見がセンター意見箱に寄せられた。	出版元に電話にて確認したところ、コロナ禍の影響で現在出版を取りやめているとの回答があり、再開後に送付を依頼した。
11月13日に近隣住民の方が来館し、落ち葉等が多いこの時期には、センター周囲の落ち葉等について職員総出で清掃を行うべきではとのご意見が寄せられた。	風の強い日など落ち葉等が多い時には近隣にも迷惑をかけるため、通常の清掃担当に施設管理担当が加わり、人数をかけて施設周囲の清掃を実施し環境整備に努めた。

11月15日にレクリエーションルームの利用者の方より、施設利用中に他の団体の方が入ってきてロッカーの荷物（私物）の出し入れをするので困るとのご意見が受付に寄せられた。	ロッカーを2月末に撤去すること、それまでに私物を引き取ってもらうことの掲示を行い、実際に2月末をもってロッカーを撤去した。
1月29日に通行人の方から、イベント広場横の歩道にある樹木の根が腐っており危ないのではとのご意見が寄せられた。	施設管理担当が造園業者に周囲の樹木の点検を依頼し、2月25日(木)に安全対策のため樹木2本を造園業者が伐採した。
新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための施設利用や利用定員等の制限、及び主催事業の中止・延期等に関する問い合わせが電話等で多数寄せられた。	新型コロナウイルス感染症の影響による施設利用や主催事業等の対応については、随時ホームページ等に掲載するなど周知に努めた。

■16 施設管理運営における事故等の対応状況

月 日	内 容	対応措置
7月25日	14時15分ごろ、レセプションルームの利用者（太極拳練習会）の方から、頭を打った利用者があり意識はあるが心配なので救急車を要請したい旨の連絡があった。	受付担当が、消防局に対し電話で救急車の出動を要請（14時30分頃）。14時45分救急車が到着し、聖マリアンナ医科大学病院に搬送された（利用者の仲間が同行）。
7月26日	15時5分ごろ、レクリエーションルームの利用者（社交ダンス）の方が、別棟のトイレで転倒し、床に頭を打ち、左こめかみからの出血が見られた。	管理担当が、消防局に対し電話で救急車の出動を要請。15時20分救急車が到着し、関東労災病院へ搬送された（ダンスの先生が同行）。
8月1日	清掃作業担当者から、館内清掃を行うためにキーボックスから持ち出したマスターキーを紛失した旨が現場責任者に報告された（10時）。当日、センター内を捜索するも発見には至らず。警察署にも紛失届を提出し、その後も館内等を捜索するも発見されなかった。	事故発生日から紛失したマスターキーで開く出入口は別シリンターに交換し、交換対応できないものは物理的に開かないよう処置した。 紛失したマスターキーの発見に至らないため、センター内すべてのキーシリンダーを交換した（R2.2.22完了）。 実害はなかったが、現在は鍵の使用に関しては徹底した管理・対応を行っている。
10月5日	当施設の案内標識版（木月3-9-32に設置）に通行車両が接触し損傷を与えた。損傷内容については、案内標識版を覆うアクリル板への傷等を与えたもの。	当該車両所有者の損害保険により物損事故扱いとして処理し、アクリル版の交換を行い原状復帰した。

10月19日	18時ごろ、警備担当から団体活動ルーム前のロビーに具合の悪い方がいるため救急車の要請が受付にあった。団体活動ルームの利用者で会議中に激しい頭痛と吐き気があるとのことだった。	受付担当が、消防局に対し電話で救急車の出動を要請。吐き気が収まらず、一人では動けない状態であったので、車いすを貸出し救急車の到着を待った。18時15分ごろ救急車が到着し、関東労災病院へ搬送された（利用団体の3名が同行）。
1月19日	13時10分ごろ、通行人の方から街路樹が燃えているとの通報が受付にあった。施設管理担当等が現場に急行し、近所の方に消し止められたことを確認して消防署に通報した。	中原消防署職員による現場検証が行われ、タバコの吸い殻が木の間に入れられた可能性、樹木の倒壊の危険性が指摘された。造園業者に連絡し、現状確認の後、当該樹木を伐採した。
2月11日	19時30分ごろ、多目的広場のベンチに女性が泣きながら横たわっているのを警備担当が巡回中に発見。ベンチ下にはスマートフォンや財布が置かれており、事情を聞いても返答がなかった。	夜間で灯りもなく危険なので、事務室に連れてくるとともに中原警察署に連絡した。中原警察署員2名が来館し、女性から事情を聞いた後、20時10分保護案件と判断し、パトカーで中原警察署へ向かった。
2月26日	18時ごろ、子どもが玄関前広場で木を揺らして遊んでいたところ根元から倒れてしまったと、保護者の方から受付に連絡があった。	施設管理担当で確認し、そのままの状態では危険であるため伐採した。
3月9日	15時30分ごろ、舞台担当職員が大きな物音に気づき、ホールホワイエに出ると多目的広場側のガラス面の破損を確認した。ホワイエにこぶし程の石が落ちており、多目的広場側からの投石による破損であった。	翌日には投石した者（子ども）が判明し、保護者よりお詫びと弁済する旨の話があり、後日調整の結果、4月12日に施工することとなった（ガラス面が大きく受注生産となるため時間を要する）。
3月22日	11時ごろ、通行人の方よりイベント広場レセプションルーム入口付近で高齢男性が倒れているとの連絡があり、センター設置のAEDの貸し出しを依頼された。	既に通行人の方が救急車の手配をされており、救急車到着までの間、通行人の方がセンター設置のAEDを使用して救助活動を行った。